

## 外国語活動学習指導案

日 時：平成 年 月 日（ ）  
場 所： 小 学 校  
対象学年： 年 組 名  
指 導 者： (学級担任)

### 1 単元名 いろいろなものを数えよう (Lesson 3 How many?)

### 2 単元 (題材) について

#### (単元観・題材観)

本単元は、チャンツやキーナンバーゲームなど楽しみながら英語で1～20の数を聞いたり言ったり、英語で数を尋ねたりする活動を通して、“How many?”を使う場面が設定されている。また13～19を言う時には「-teen」がつくなど英語の特徴にも気づかせたい。単元の終わりには「How many クイズ」を設定し、数を尋ねるクイズを自由に作って質問したり答えたりする活動を通して、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養うことをねらいとする。

#### (児童観)

#### (指導観)

機械的に英語での数え方を言わせるのではなく、数を数える必要感を持たせるタスクを組み入れながら、楽しんで口頭練習をさせる。第1時はゲームなどを楽しみながら1～10の数を英語で言ったり、いろいろな国の数え方を聞き、指の折り方などにも着目してそれぞれの特色を知る機会とする。第2、3時では第1時と同じくゲームを通して11～20までの言い方に慣れさせ、第4時では「How many クイズ」を行い、積極的に数を数えたり尋ねようとする活動を取り入れる。またプリント配布の際に列の児童数を尋ねて答えさせるなど、日常的に反復させて慣れ親しませていきたい。

#### (他教科との関連)

特になし

### 3 単元目標

#### ○教科の指導目標

- ・積極的に数を数えたり、尋ねたりしようとする。
- ・1～20の数の言い方や数の尋ね方に慣れ親しむ。
- ・言語には、それぞれの特色があることを知る。

#### ○キャリア教育視点でのつきたい力

- ・数を尋ねたり答えたりする活動を通して、相手と関わろうとしている。

【人間関係形成・社会形成能力】

#### 4 単元評価規準

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】  
積極的に数を数えたり、尋ねたりしている。

【外国語への慣れ親しみ】  
1～20の数を聞いたり言ったりしている。  
数を尋ねている。

【言語や文化に関する気付き】  
言語にはそれぞれの特色があることに気づいている。  
13～19を言うときには“-teen”がつくことに気づいている。

#### 5 単元指導計画（時間配分 4時間）

	● 目標 【】Hi, friends の活動 【L】= Let' s Listen 【C】= Let' s Chant 【P】= Let' s Play 【A】= Activity ○ その他の活動	評価				
		コ	慣	気	評価規準	評価方法
1	●11～20の英語での言い方知る。 【P1】じゃんけんゲーム ○クラブゲーム 【L】どの国の数の言い方かな ○11～20の言い方を知る ○キーナンバーゲーム			○	(気) 言語にはそれぞれの特色があることに気づいている。 (気) 13～19を言うときには“-teen”がつくことに気づいている。	行動観察 ふり返しカードの点検
2	●1～20の言い方に慣れ親しみ、数の尋ね方を知る。 【P1】じゃんけんゲーム ○1～20の復習 ○ビンゴゲーム ○どんなやりとりをしているかな 【C】How many balls? 【P2】いくつあるか数えよう			○	(慣) 1～20の数を聞いたり言ったりしている。	行動観察 ふり返しカードの点検
3	●1～20の言い方や数の尋ね方に慣れ親しむ。 【C】How many balls? ○キーナンバーゲーム 【A1】「How many クイズ」を作ろう 【A2】りんごがいくつあるかたずねよう		○		(慣) 数を尋ねている。	行動観察 ふり返しカードの点検
4	●積極的に数を数えたり尋ねたりしようとする。 【C】How many balls? ○クラブゲーム 【A1】How many クイズを作ろう ○クイズに答えよう	○	○		(コ) 積極的に数を数えたり、尋ねたりしている。	行動観察 ふり返しカードの点検